

芸閣

～図書館だより～

第3号
2016年11月

桐蔭高校
図書局発行

目次

～～～表面～～～

文学散歩

～～～裏面～～～

文化祭

文学散歩とは

作品の舞台となった場所や、文豪にまつわる地などをたずねること

私たち図書局員はこの夏休みに、大阪にある「利晶の杜」と「国立国際美術館」に行ってきました。

8月17日、私たちは文学散歩で、堺市の「さかい利晶の杜」と大阪市の「国立国際美術館」を訪れました。ここでは、さかい利晶の杜に関するレポートをお伝えします。

ここは、昨年3月にオープンしたばかりで千利休と与謝野晶子、そして彼らと関わりの深い堺市の歴史・文化を紹介する施設です。

「利晶」は千「利」休と与謝野「晶」子を、「杜」は「神社の森」をそれぞれ意味します。建物は2階建てで、正面はガラス張りになっています。他にも、施設内には茶の湯を体験出来る茶室が、施設周辺には利休・晶子それぞれの家の跡地があります。

千利休と与謝野晶子という日本人なら誰もが知る歴史上の人物が、堺、そして日本の文化へと与えた影響を身近に感じることが出来る文学散歩だったと思います。

古川 夏葵

ここからは文学散歩で訪れた「国立国際美術館」についての報告です。

私たちはこの夏から秋にかけて展示されていた「始皇帝と大兵馬俑」を鑑賞してきました。

国立国際美術館は、主要部分のほぼ全てが地下にあるという少し特殊な構造をしており、展示品を見るため地下に降りていく際には古代中国の世界に入っていきのように感じられました。展示品の中には正確性を求められる計量用の升や水道管などがあり、古代中国の技術力の高さを再確認しました。兵馬俑は、服の細部まで細かく作られており、靴の有無や装飾品の数などで身分が分かるほど精巧で、始皇帝の権力の表れのように感じられた。

今まで世界史や古典の授業でしか扱っていなかった古代中国が、すごく身近に感じられた文学散歩でした。

金森 蒼

ちなみに、特別展「始皇帝と大兵馬俑」の展示は10月2日に終了しました。10月22日から来年1月15日までは特別展「ヴェネツィア・ルネサンスの巨匠たち」を展示しています。

興味のある方は、是非足を運んでみてはいかがでしょうか



～文化祭報告～

各クラス、文科系クラブが出し物をしているなか、図書館はPOPによる本の紹介と古雑誌の販売を行いました。

文化祭2日目、図書館は古雑誌販売を行いました。

様々な雑誌が全て10円で販売されるこの催しは、私が中学生の頃、販売開始前から行列ができるほどの人気でした。私は今回もそうなるだろうと思っていました。

しかし、いざ販売を始めると、立ち寄って見てくれる人は少なく、雑誌はなかなか売れません。少したってから、先生方が立ち寄ってくださり、雑誌を買って行ってくださいました。その後、生徒の皆さんも歩みを止め、雑誌を買って行ってくださったのですが、結局、全ての雑誌を売ることはできませんでした。

今年の反省をふまえて、来年の文化祭に活かしたいと思います。

田嶋 宏隆

今年の文化祭では、図書館で図書館員によるおすすめの本のPOPの展示を行いました。書店などで本についての小さな手書きの広告を見たことがありませんか？あれをPOPといいます。

有川浩さんや東野圭吾さんの作品、「ミッケ！」についてのPOPなんてものもありました。読んだことのある本からそうでない本まで、いろいろなPOPがありましたが、どれも趣向が凝らされており、紹介されていた本にとっても興味がわきました。今年は展示ということで、昨年よりは少なかったものの、たくさんのお客さんが足を運んでくださり、お客さん同士で紹介されている本について話しているのを聞いて、POPづくりをしてよかったな、と思いました。

少しでも本を読みたいと思うきっかけになれていたらうれしいです。

丸山 真奈美



☆☆☆ 新着図書紹介 ☆☆☆

『フランス人は10着しか服を持たない 2』

ジェニファー・L・スコット著 早川書房

『読む力は生きる力』 脇明子著 岩波書店

『医者のおたまご、世界を転がる』
中島侑子著 ポプラ社

『1人のお客様が100回再来店する店づくり』
石川佐知子著 同文館出版

『強く、潔く。』 吉田沙保里著 KADOKAWA

『少女たちの学級日誌 瀬田国民学校五年智組
1944～1945』 吉田文成著 偕成社

『USJのジェットコースターはなぜ後ろ向きに
走ったのか』 森岡毅著 KADOKAWA

『メディアにむしばまれる子どもたち』
田澤雄著作 教文館

『武器より一冊の本をください 少女マララ・ユス
フザイの祈り』 ヴィヴィアナ・マツツァ著 金の星社

『10代からの情報キャッチボール入門』
下村健一著 岩波書店

『反応しない練習』 草薙龍瞬著 KADOKAWA

『10代のための人間学』 森信三著 到知出版社

『はじめての論文作成術』 宅間紘一著 日中出版

『64』 横山秀夫著 文芸春秋

『とっぴんぱらりの風太郎』 万城目学著 文芸春秋

『危険なビーナス』 東野圭吾著 講談社

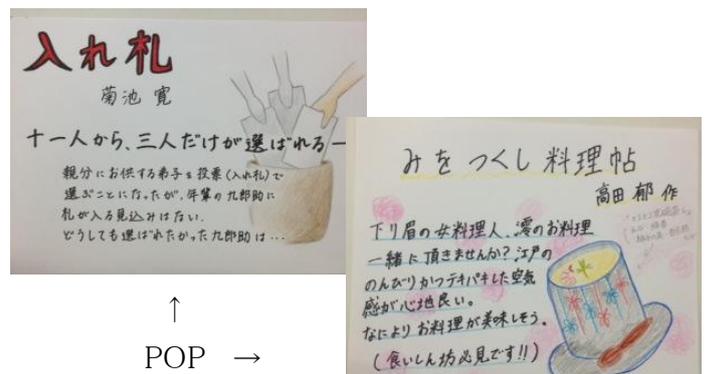
『教場 2』 長岡弘樹著 小学館

『ユリゴコロ』 沼田まほかる著 双葉社

『きみはいい子』 中脇初枝著 ポプラ社

『楽園のカンヴァス』 原田マハ著 新潮社

『島はぼくらと』 辻村深月著 講談社



文化祭で販売した古雑誌の売り上げ1,650円は和歌山県を通じて熊本地震義援金に寄付しました。

↑
POP →